

令和5年芽室町議会定例会9月定例会議一般質問

令和5年9月22日再開

| 質問議員 氏名 | 質問項目 | 質問の内容・要旨 | 答弁を 求める者 |
|----------------|--|--|-------------|
| 中村和宏 (45分間) | 1 少子高齢化 社会に対応し た住民自治の 実現について | <p>町では、平成19年3月に制定した「まちの憲法」である「芽室町自治基本条例」のもと町民による住民自治に取り組んでいます。</p> <p>第5期芽室町総合計画後期実施計画の施策である「住民自治の実現と地域の活力の維持」にも記述がありますが、少子高齢化や人口減少など、社会情勢の変化により多くの課題に直面している現状と認識しています。</p> <p>ここ数年、出生数は100人前後で推移し高齢化率も30%を超えている現状です。少子高齢化という社会情勢の変化をしっかりと見据えた住民自治の実現、町民参加の取り組みが必要と考えます。以下2点について、町長の見解を伺います。</p> <p>① まちづくりに大きな役割を担っている機能として、町内会があります。少子高齢化という現状での町内会活動の課題及び今後の活動支援に対する町の展望について、町長の見解を伺います。</p> <p>② 重要な住民参加の手法としての「公共サービスパートナーシップ制度」においても、少子高齢化などによる影響が大きいものと考えます。当該制度の主な成果、現状と課題、今後の展望について、町長の見解を伺います。</p> | 町長 |
| 堀切忠 (60分間) | 1 高齢者の難 聴に係る支援 について 2 町内会活動 への支援につ いて | <p>加齢性難聴は60代後半で3人に1人、75歳以上になると7割以上との研究報告があります。難聴になると、家族の中でも会話が減り、人が集まる場へ出ずに引きこもりがちになり、さらに認知症になるリスクも高まると言われています。この課題の主な解決策に補聴器の活用がありますが、高額のため購入に苦慮する声を聞くことから、補聴器購入費補助を含め、高齢者への難聴対策に係る支援について、町長の見解を伺います。</p> <p>町内会等への加入率低下や役員のなり手不足等の課題は、全国的な傾向として顕著であり、本町もその例外ではありません。</p> <p>本町は令和元年6月に、市街地町内会連合会との連携協定を締結し「健康づくり・福祉増進」等8項目を両輪となって推進していますが、次の2点について町長の見解を伺います。</p> <p>① 町内会の加入増、役員のなり手不足に対する町の支援に係るこれまでの取組実績、現状、課題、今後の取組について、町長の見解を伺います。</p> <p>② 単位町内会が支出する各種団体等に対する負担金は、長年続くしくみであり、新たな自治活動の支援に向けては、行政も検討すべき重要な事項であると考えことから、この経過の認識、現状、課題、今後の町の関与と方策について、町長の見解を伺います。</p> | 町長 |

| 質問議員 氏名 | 質問項目 | 質問の内容・要旨 | 答弁を 求める者 |
|-----------------|------------------------------------|--|-------------|
| 渡辺洋一郎 (60分間) | 1 熱中症対策 について | <p>総務省消防庁によると、今年5月から8月20日までに北海道で熱中症で病院搬送された人は約2,000人で、昨年比2.1倍、さらに8月21日から27日までの1週間では935人にのぼり、昨年比25倍、全国と比較しても増加率の高さが目立っています。</p> <p>北海道など、暑さに慣れていない地域では、他の地域よりもリスクが高いとも言われており、熱中症への予防、対策が重要と考えることから以下2点について伺います。</p> <p>① 町民に向けた熱中症への予防・対策に係る現状と課題、今後の取組みについて、町長の見解を伺います。</p> <p>② 各家庭に冷房機器のない町民などに対し、冷房を備えた公共施設の利用を促したり、新たに公共施設に冷房設置を整備するなど、今後の新たな対応に向けた現状と課題について、町長の見解を伺います。</p> | 町長 |
| | 2 発達支援の 取組みについ て | <p>本町における発達支援システムは、保育・教育・保健・医療などの横の連携と、個別ケースごとの就学前から就労に至るまでの一貫性と継続性のある縦の連携による取組みがされてきているところであり、現状の体制と今後の取組みの展望について、以下3点について伺います。</p> <p>① 早期発見・療育の体制について、これまでの取組みと今後の課題解決に向けた展望について伺います。</p> <p>② 保護者との発達についての情報共有の現状と課題について伺います。</p> <p>③ 本町では4か月児、10か月児、1歳9か月児、3歳6か月児健診が行われていますが、就学前における健診の必要性についての考え方を伺います。</p> | 町長 |
| | 3 株式会社モン ベルとの包 括連携協定に ついて | <p>本町では本年6月に、株式会社モンベルとアウトドアを基軸とした地域の活性化と町民生活の質の向上を目的とした「包括連携協定」を締結しました。協定項目は7項目にわたりますが、その具体的な取組みについて以下2点について伺います。</p> <p>① 防災関連について、具体的な協議、調整を進めるとあるが、具体的な今後の取組みと展望について伺います。</p> <p>② 子育て分野においては連携協定を結んでいる他自治体での取組み例もありますが、今後本町においてどのように事業展開を考えているのか展望を伺います。</p> | 町長 |

| 質問議員 氏名 | 質問項目 | 質問の内容・要旨 | 答弁を 求める者 |
|-----------------|----------------------------|---|-------------|
| 正村紀美子 (90分間) | 1 公有財産(土地・建物)の活用と今後の展望について | <p>町は、「芽室町公共施設等総合管理計画」及び「芽室町町有財産利活用等基本方針」を定め、公共施設などの総合的かつ計画的な管理を推進しているが、下記事項については、第5期芽室町総合計画の政策実現に大きな影響を及ぼす公有財産(土地・建物)であることから、今後の展望について、町の見解を伺う。</p> <p>① 新嵐山スカイパーク用地の使用許可について、令和3年9月の一般質問での答弁は、許可期限は令和4年度までとし、貸付方法や新たな賃借料の設定及び長期的な貸付けについては、改めて検討するとのことだった。その後の検討経過および今後の対応について、町の見解を伺う。</p> <p>② 町は、令和2年度から雇用促進住宅を供用開始し、町内企業に対する支援策を講じている。周知活動等による認知度の向上により、利用は増加しているものの、建物の老朽化は依然、大きな課題である。事業実施後の課題や成果を踏まえて、今後、雇用促進住宅をどのように整備・活用していこうとするのか、町の見解を伺う。</p> <p>③ 町は、令和3年度に旧国立農業試験場芽室宿舎跡地西側を「障がい者福祉活躍ゾーン」と位置付けた。令和4年度から放課後等デイサービス事業により用地が一部活用されているが、当初計画に示された具体的な活用はされていない。現状と課題、今後の事業構想等土地利用のあり方について、町の見解を伺う。</p> | 町長 |